

UNIVER-CITY LADAKH ご報告書

セクモル 1

8〇17〇 北インド・ラダックのフェイ村インダス河沿いにあるオルタナティブ教育の学校 SECMOLにて、「EDUCATION FOR LIFE フォーラム²」が、企画・主催 FIELDSHIP UNIVER-CITY (FSUC)、協力 NPO 000ピーエーエフ & NPO 000 GU、そして地元協力 SECMOLにより開催されました。会場には生徒たちと一緒に手作りしたバナーが掲げられました。参加者は約70名で、生徒、スタッフ、ベトナムやフランス等世界各地からのボランティアの先生、卒業生、NGOや教育関係者が参加されました。基調スピーカーは静岡県榛原郡川根本町立三ツ星学園の教師であり一般社団法人日本イエナプラン教育協会代表理事の濱大輔氏で、「日本の学校と教育改革」- 共に生きることを学ぶ学校づくり- と題してお話されました。最初に参加者全員が輪になって座りペアで対話やゲームをしたりして、まさにイエナプラン教育の本質をリラックスして体験しながら始まりました。濱氏はライフワークのイエナプラン教育について、地元公立小学校でのイエナプランを取り入れた授業の様子、また日本各地や川根本町での教育改革の取り組みについて熱意を込めてお話されました。「とても学べた」「素晴らしかった」との感想が多く、更に詳しく知りたいという教育関係者もいらっしゃいました。その他のスピーカーとして、SECMOL代表のパドマ・オツアル氏が、ラダックの教育改革と環境問題への取り組み、既存の教育システムから一年間離れて自給自足で共に暮らす体験的学びの大切さについて、又、^{ハイアール} HIAL³ のギタンジャリ氏（ソナム・ワンチュク氏との共同設立者&CEO）が、隣のピャン村に来年開校予定の学園と3 Hs（Bright Head, Kind Heart, Skilled Hands）等の教育哲学についてお話されました。GUからはコーディネーター三浦が、「EDUCATION FOR LIFE (EFL) を基調とするUNIVER-CITIES」と題して、GUやUNIVER-CITIES (UCs) の活動紹介とEFLについてお話しして、UCsの紹介動画、UC KAWANEとUC SAGAMIHARAからの動画メッセージをお届けしました。ラダック語通訳にUC LADAKHのスカルマ・ギュルメット氏も駆けつけてくださいました。スピーチの間にはラダック伝統ダンスが女生徒により披露され、明るい笑顔と歌声が会場に満たされました。昼食は主催者からのご支援でラダック料理等のバイキングとボランティアで滞在されていたアーティストの熊谷雅さんから手作りの和風お菓子の差し入れもあり、皆でお食事を楽しみました。午後は小グループに分かれ、「理想の学校をどうデザインする？」をトピックに話し合いました。色々なアイデアを出し合い、生徒たちは理想の学校、教育を思い描くのがとても楽しそうでした。フォーラムは盛況に終わりました。現地入りしてから様々な過程を経て実現化されたこの共創フォーラムは、現場での相互の気づきと学び、異文化を超えての共創の貴重な体験と味わいでフィールドが歓びに充ちているようでした。濱氏はラダックの教育関係者との出会いで、2025の新たな共創へと向かっているようです。ラダック - 日本 - 川根、今後のテンカイが楽しみです。ホームページに写真がアップされていますのでぜひご覧下さい。

その他、クラスではGUダンス（Expression）の五大元素やFIELDSHIP 20をご紹介します生徒たちと交流を楽しみました。最後に、GUよりUC SAGAMIHARAを通じて「EARTH JOURNEY⁴（MALC刊）」をHIALに寄贈させていただきましたことをご報告致します。皆様、フィールドシップを真にありがとうございました。

GUコーディネーター 三浦 裕美子



1 The Students' Educational and Cultural Movement of Ladakh <https://secmol.org>

2 LADAKH WISDOM FORUM with KAWANE WORLD FORUM 「EDUCATION FOR LIFE フォーラム」

- Bridging SECMOL With UC KAWANE -

3 Himalayan Institute of Alternatives, Ladakh <https://hial.edu.in>

4 000プラネット株式会社からUC SAGAMIHARAに寄贈された共材